

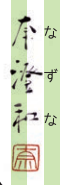
ぼちぼち
たわらもと



VOL.
22 【夏号】

「ぼちぼち たわらもと」ってなあに??
田原本のまちな見所や地域の人・団体の
取組情報等をマップの形で発信し、お互
いの交流を深め地域の魅力を高めよう
という地域密着情報誌です!

第22号 2018/6/22 発行
発行人・編集人／B.T.編集局
協力／田原本町地域公共交通活性化協議会
問合せ／TEL (0744)-34-2083





ママに朗報!! 子どもといっしょに
お出かけしたいスポット!

おかし家 たつみ



20年前にオープンされた
昔なつかしの駄菓子屋さん。
地元の幼稚園児から高校生までが放
課後に自転車でたくさん来店。色とり
どりの駄菓みに目を奪われます。
辰巳さんは以前に保育士をしており
大好きな子供たちが笑顔になるお店
をモットーにしています。

住所／田原本町495
TEL／0744-32-7497
定休日／不定休



色んな あてものも いっぱい!



イベント広場

田原本町の中心部にある公園です。
広場や遊具の他に、夏場は噴水もあるよ!

きらり
たわらもと

熱い想いを持つ磯城野高校 美術部の先生と生徒達の活躍

今回は、県立磯城野高校の美術教師で美術部の顧問もされている濱崎先生を訪ねました。「美術を通して、生徒達の“心”を育てることで、それぞれの人生が豊かになることを願っている」と話されました。生徒達の美術への関心興味が少しでも高まればと取り組んだ「ワンランク上の板書」、いつの頃からか「黒板アート」と呼ばれるようになりましたと、優しい笑顔でお話いただきました。

美術部の活動で昨年11月のやどかり市では、手のひらアートを手伝っていただきました。レスティ唐古・鍵の3Fに展示中です。



美術部に協力いただいた
手のひらアート

美術部が日学・黒板アート甲子園2018大会に 参加し見事、日学特別賞を受賞!

美術部員が話し合い「定年退職される野球部顧問の先生にお祝いの絵を贈ろう」と春休みに制作した黒板アート。試合終了後に野球部員が校歌斉唱する姿を描いた作品は、人物や背景などそれぞれが得意なところを担当することで素敵な絵に仕上がりました。野球部員やその保護者の方々にも見に来ていただけて感動しましたと、語っておられました。

これからの目標は、「美術ができる環境に感謝しながら、作品づくりを通して、学校や地域に笑顔を実らせられる美術部を部員達と共に目指したい」とのことです。



完成作品



奈良県立
磯城野高等学校
濱崎先生



完成した黒板アートを見る野球部員



黒板アートを制作する美術部員

完成まで
もう少し!

こども！ 職場体験記

子どもたちが様々な仕事を体験し学んでいきます。
今回ご協力いただいたのは「磯城消防署」さんです。

今回は「消防の仕事」を体験です！



期待のイケメン若手消防士！

磯城消防署
住所／
磯城郡田原本町
八尾72
☎0744-33-2461
FAX0744-33-4033

最後は
ユニフォームを着て
記念撮影



1分間に30回。
力があるなあ

塚本 力夢くん(中右) 葛和 秀真くん(中)
野村 晃史くん(右) 葛和 咲乃さん(中左)
塚本 理里夢さん(左)



心臓マッサージを体験！



救急車の中は
こんなに
なってらん
だなあ



まずは消防の仕事の説明です。



AEDの説明をみんなで聞きます。



救急車の中を見学。すごい機能がいっぱい。



ポンプ車を見学。なんとホースは65m。

ぼちぼち...おでかけ情報



今回は「黒田駅周辺」エリア！



①孝霊神社(戸神社)

第7代孝霊天皇を祀る神社で、かつては法楽寺境内に鎮座していたが、明治時代初期の神仏分離で現社地に遷座し、黒田村の氏神として引き継がれ、別名「戸神社(いおとじんじや)」とも呼ばれる。

孝霊天皇「黒田戸宮」はこの辺にあったようです。

磯城郡田原本町黒田262



②太子道(筋違道)

万葉の時代に、聖徳太子が斑鳩の里から飛鳥の宮を往来されたという伝承から「太子道」と呼ばれる。この道は、条里制の南北方向の地割りに斜交していることから、「筋違道」とも呼ばれる。

全長は約28kmもあるそうです。

磯城郡田原本町黒田地内



③宮古の薬師如来

薬師如来坐像は、宮古集落の東方にある集会所併設の薬師堂に安置されている。檜の一木造りで、9世紀後半の作とみられる。像高96.6センチメートル。平安初期一木彫像の優品である。

国の重要文化財に指定されているよ。

磯城郡田原本町宮古寺垣内

★ちょっと気になるもの★ さてどこにあるかな??



町中に佇む古民家陶胎ギャラリー ギャラリー月の聲

不定期に開くギャラリー月の聲は、寺内町の一隅にある1892年に建てられた築120年の古民家です。現在もお住まいされ、奈良県主催の「はならあと」の時にギャラリーをOPENされました。去年の秋に陶胎作家 故田村一博さん、書道家 奈良澄和侑子さんとのコラボで個展を開催し、その時にギャラリーを「月の聲」と名付けました。

亡きご主人の思いを継ぎ、奥さんと陶胎作家 石田瑞夫さんと共に、漆の奥深さや新しい感覚を多くの人達が感じ、陶胎を日常的に使ってもらふ発信基地としていくことがこれからの目標です。

陶胎とは

陶磁器に漆塗りを施した器などのこと

次回／9月15日～10月14日(金、土、日曜日)

「月」をテーマにギャラリーを開催

OPEN時は右の看板が立っています。

散歩の途中にふらりと立ち寄ってください。



石田さん

田村さん



住所／田原本町51(大門東)田村

田原本町内を パトロール

今回は月の聲



石胎平皿



香炉(石胎)



陶胎フタ物

B.T. 編集局では、「ぼちぼちたわらもと」へ掲載する情報や、ご意見・ご感想をお待ちしています。連絡はこちら！

田原本町地域公共交通活性化協議会事務局 田原本町役場 総合政策課

TEL：0744-34-2083 E-mail：seisaku@town.tawaramoto.nara.jp